



1 2 3

壺町田湿地の事例

31

壺町田湿地植物群落とは？

- 知多半島中央部の丘陵地に存在（武豊町）。
- 里山地域の小規模湿地（湧水湿地）に成立する希少種・地域固有種を含む植物群落。
 - 愛知県指定天然記念物、愛知県自然環境保全地域
 - 湿地面積約570m²、周囲の森林を含め11000m²を保護。



Google map



32

Google map

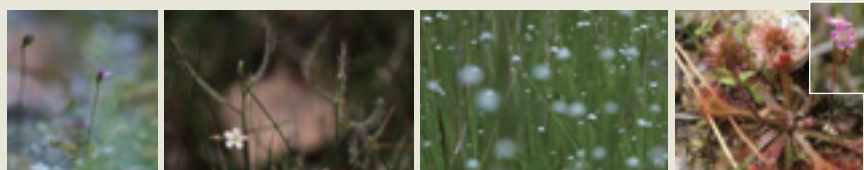
観察路（周遊コース）



33

壱町田湿地の特色

- 湿地の特色
 - 貧栄養・酸性の湧水によって形成された湧水湿地
 - 里山林二次林の中に存在している
- 植物群落の特色
 - イヌノハナヒゲ類が優占する被度の低い群落。
 - 希少種が数多く含まれる(ヒメミカキグサ・シロバナナガバノイシモチソウ・シラタマホシクサ・トウカイコモウセンゴケなど)。



壱町田湿地保護の経緯

- 昭和30年代、周辺の丘陵地の開発。里山だった湿地周囲は裸地や耕作地に変容。
 - 地元の自然愛好家など少数によって知られていた
- 1982(昭和57)年 農業基盤整備事業開始
 - 保全のための専門家らによる調査が行われる。
 - 数年のうちに、地権者から土地の買い上げ、フェンス・観察路設置などの保全策を実施



35

壱町田湿地の保全に携わる人たち

- 武豊町・歴史民俗資料館
 - 文化財指定、広報、保全予算拠出
- 社会教育指導員
 - 常時: 定期的記録、日常的メンテナンス
- 壱町田湿地を守る会(ボランティア)
 - 月1: 保全各種実務、公開日の普及活動
- 監視員
 - 常時: 日常生活の中での巡視活動
- 小中学生ボランティア
 - 月1: 軽作業、公開日の補助

36

「壱町田湿地を守る会」のあらまし

- 目的
 - 「壱町田湿地内に自生する植物群落の保護育成を図るとともに、環境調査及び保存増殖の研究を実施し、文化財の保護、活用に寄与すること」(会規約)
- 予算
 - 年間約30万円(武豊町からの委託金)
 - 作業道具や公開用具の購入、公開日弁当等、研修などに使用
 - 木道改修など大規模な保全は別途

37

「壱町田湿地を守る会」の活動

- 構成メンバー
 - 22人(2011年現在)。ただし、定例作業に参加するレギュラーメンバーは10人に満たない。
 - 武豊町と隣接する半田市の居住者がほとんど。
 - 中高年層が中心、余暇の楽しみ方の一つ。
- 活動内容
 - 定例作業(月1回) 草刈り、落ち葉かき、周囲の森林の除伐、水路・ポンプ・観察路の整備など
 - 公開日の自然観察指導(夏季5日) 一般向けに解説
 - 総会(年1回) 作業計画や方針について議論
 - 研修(年1回) 近隣の湿地を見学、見聞を広げる。

38



本日のまとめ

- 里地・里山の保全活動は、人が積極的に自然を管理してゆくという点で、原生的自然の保護とは異なった考え方で進める必要がある
- 保全対象とする里山をよく調べたうえで、まず、保全目標と保全計画を立てることが必要。
- 保全計画を立てる際には適切なゾーニングを行うことが大切。
- 保全作業は、全員が楽しく、負担にならないような方法を模索する。
- 作業結果は定期的に検証し、その効果を確認して今後の作業に役立てる。

参考文献

- 重松敏則(1991)『市民による里山の保全・管理』信山社サイテック
- 石井実・植田邦彦・重松敏則(1993)『里山の自然をまもる』築地書館